



青森



秋田



盛岡

オールいわてで盛り上がりよう!
特集 「東北絆まつり2018 盛岡」



仙台



山形



福島

今年の仙台開催に続く、「東北絆まつり」。今年も盛岡を舞台にして、東北を代表する祭りが熱く繰り広げられます。

2011年7月、東日本大震災からの復興を願ってはじまった「東北六魂祭」は、東北6市を一巡して2016年で終了しました。東北各地に足を運ばなくては観ることができない祭りを一堂に集めた同イベントは、多くの観光客を東北に呼び込むと共に、被災地で生きる人々が希望を持つて歩みを進める大きな足がかりとなりました。

そして一つの役目を果たした後、絆をさらに繋げるべく再スタートしたのが「東北絆まつり」です。今年の開催は、6月2日(土)・3日(日)の2日間。青森ねぶた祭、秋田竿燈まつり、盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、福島わらじまつりを中心にした華やかなパレードが盛岡市役所を起点に中央通の約1.2キロに渡って行われ、盛岡秋まつりの山車や神輿もパレードに参加する予定です。

また、岩手県内全市町村から伝統芸能団体を招いたステージイベントも多数開催され、盛岡城跡公園をメイン会場に、パレードを行う中央通り、もりおか歴史文化館、SIDE1 B(バスセンター跡地)、MOSSビル、

木伏緑地(盛岡駅前)と、盛岡市街地全体が舞台となってオールいわてで祭りを盛り立てていく考えです。

「東北六魂祭」を通して絆を深めた「東北の底力」を見せるのはこれから。祭りの成功に向けた取り組みや想いについて、市内事業者・出演者のお話を伺いました。



昨年の東北絆まつりでの様子



盛岡のコンシェルジュ役となり 一人でも多くのファンづくりを

(株)ホテルエース 管理・企画グループマネージャー
田中 宣行さん

市内最大級となる 275 室もの客室を備えるホテルエース盛岡。東北絆まつりの時期の宿泊状況については「3月頃からインターネットを經由しての宿泊予約が多くなり、現在はほぼ満室。市内の宿泊施設はどれも予約が取りづらい状況になってきている様です」との事。2012 年から同ホテルで開始した YouTube による動画配信はこの 6 年弱でおよそ 800 本。

観光関連動画のほぼ全ての撮影・編集を担当するのは管理・企画グループマネージャーの田中宣行さんです。

「観光関連の動画以外にも、最寄りのインターチェンジからの経路やホテルから周辺のコインランドリーまでの道順を伝える動画なども配信しています。東北絆まつりでは、遠方から多くの観光客の方々がいらっしゃいます。観光情報から訪れた際の身の回りのお世話まで、盛岡にいらっしゃる皆様にとってのコンシェルジュ的な役割を担えればと思います」と田中さん。東北絆まつりをきっかけに様々な盛岡の魅力に触れ、再び足を運ぶファンになってくれればと期待を寄せます。



いつもの佇まいで 自慢の料理を楽しんで貰いたい

食堂Beさん オーナー
阿部 俊一さん

盛岡市内丸、櫻山神社向かいにお店を構える食堂 Be さん。オーナーである阿部俊一さんは6年前の「東北六魂祭」の様子をこう振り返ります。「あの頃は独立前で別な店舗に勤めていて、当日は妻と岩手県公会堂の前で待ち合わせをしました。とにかく凄い人出だったのを覚えています。会場近隣の飲食店でも普段を大きく上回るお客さんの数だったと伝え聞いています」。

いわいずみ短角牛を使用した炭火焼きステーキや三陸産の食材を使用した小鉢など、岩手県産の食材使用にこだわりを持

つ同店。「イベントだからこそ、市外や県外からいらっしゃる方には、あえて普段から自信を持って提供しているメニューをそのまま楽しんでもらいたいです。食事の際はいらっしゃったお客様と会話をする機会もあるのですが、関東や関西のお客様で居心地の良さを感じ、再度ご来店下さる方もいらっしゃいます。美味しい食事と共に温かいおもてなしの心でたくさんの人々をお迎え出来ればと思っています」。



祭りを通して東北の元気を 全国に、世界に届けたい

2017 ミスさんさ踊り
中井 奏絵さん

昨年 5 月に 2017 ミスさんさ踊りに選出され、その後は北海道から沖縄までの全国各地に加え、海外も含む数十回の現地派遣を通じ、盛岡の魅力を発信し続けてきた中井奏絵さん。

地元盛岡での東北絆まつりについては、「地元である盛岡市で開催されること、その中で自分が参加出来る事に、とても喜びを感じております。東北絆まつりは、それぞれのお祭りを一度に楽しんでいただくほかに、東北が一丸となり生み出すパワーを感じてもらいたいです。きっと、その迫力は圧巻の一言だと思います。

す。東北の元気を全国に、そして世界に発信できますよう、皆で心をつなぐ頑張りたいです」とその意気込みを語ります。

「東日本大震災では、多くの国や地域の方にご支援いただきました。温かい支援への感謝の気持ちが伝わりますように、また皆様に幸せが訪れますように、そして、この先も東北の絆が深まりますようにとの願いを込めて踊らせていただきたいと思います」。初夏の爽やかな風の中、精一杯の笑顔と感謝の気持ちを届けます。

